

男女共同参画・ジェンダー平等地域MINNA会議

かごしまジェンダー平等推進プロジェクト

主催：鹿児島県

鹿屋市 会場 リナシティかのや
2023年
12.17 日 開会 13:30
閉会 17:00

薩摩川内市 会場 SSプラカせんだい
2024年
1.8 月・祝 開会 13:30
閉会 17:00

奄美市 会場 奄美市役所
2024年
1.13 土 開会 13:30
閉会 17:00

開催レポート

執筆：高崎 恵 かごしまジェンダー平等推進PTアドバイザー

令和3年度から3年間展開してきた“かごしまジェンダー平等推進プロジェクト”の最終年となる令和5年度は、より身近な地域での学び、気づき、動きを創り出すために、県内3地域で「男女共同参画・ジェンダー平等地域MINNA会議」を開催しました！

プログラム1

これまで男女共同参画・ジェンダー平等の学びへの参加がなかった層にも、広く興味をもって参加していただけるように、落語家による講演等を実施しました。



講演 『落語の中から気づいて学ぶジェンダーの事
～男?女?いいえ、私は自分!～』

かつらしちぶく
桂七福 さん 四代目 桂福団治一門 上方落語家

鹿屋市



講演 『女らしくなく男らしくなく自分らしく』

つゆのまるこ
露の団姫 さん 露の団四郎一門 上方落語家
天台宗道心寺住職

薩摩川内市



オリジナル落語 『PTA会長への道』

きのうゆうじ さん 奄美市在住アマチュア落語愛好家

奄美市

プログラム2

かごしまジェンダー平等推進プロジェクトチームメンバー(以下PTメンバー)による取組発表を実施しました。

鹿屋市 萩元 邦庸 さん

株式会社スズキアリーナ大隅
代表取締役副社長

薩摩川内市 亀崎 翔太 さん

医療法人クオラ 経営企画室

奄美市 長山 美香 さん

知名町地域女性団体連絡協議会会長
知名町まちづくり町民会議会長

プログラム3

講演や落語、取組発表を聞いて思ったこと、考えたことをみんなで話す対話ワークショップを実施しました。
ファシリテーター 高崎 恵

地域MINNA会議 MEMO

3地域で実施した、落語家による講演と、アマチュア落語家による落語をすべて聴いて思ったことは、言葉の大切さと、言葉がその社会、その時代の価値意識を表しているということです。鹿屋市で講演して下さった桂七福さんは、一人ひとり違う者同士、ズレのないように話すのは無理なことで、言葉はズレて行くものだから、誤解が生じた時に直接話すという行動をとって修正することが大切！それを繰り返す日々を過ごすことで、ムカっとする前に「あれ?どういうつもりかな?」と考えるプレーキが増える!と、これからジェンダーギャップ解消に向けて、いろんな地域で始まる対話の深まりへの知恵をくださいました。

薩摩川内市で講演して下さった露の団姫さんは、私たちが日々の中でついつい枕言葉で使いがちな「男」「女」という言葉によって、「自分の夢を自分で勝手に諦めてしまう」ことがないよう、一人ひとりの可能性が無限大になるように、固定観念や思い込みを見直していくことの大切さを話していただき、固定観念で強制するのをやめて、共生の輪を広げ、より良い社会をつくるためにも、自分自身がより良く生きるためにも差別せずに生きよう!と、ジェンダー平等の根幹となるお話をしてくださいました。

今回3会場の中で、唯一オリジナル落語を披露して下さったのが、奄美市のアマチュア落語家きのうゆうじさんです。私は、きのうさんの落語を聴くのは2回目です。「当たり前」とか「昔から決まってる」と言われてやり続けていることや、言葉たくみに丸めこまれてしまったこれまでの経験を「ある!ある!」と大笑いしながら思い起こし、、、でも、よく考えて見ると、「それって誰が決めたんだっけ?」と、思考が動きはじめる会場の皆さんの様子が印象的でした。皆さんにも是非、どこかで聴いて欲しいと思っています!

講演や落語を聴いた後は、それぞれの地域で活動して下さったPTメンバーの皆さんに取組を発表していただきました。これからの社会の豊かさを考える時、ジェンダー平等への取組は不可欠であることを学び続け、PTメンバーでの対話を重ねた3年間の中で、自分の職場、地域、家庭でのジェンダーギャップの解消に向けて様々な取組をはじめて下さったご報告を聴かせていただきながら、気づきや学びや多様な他者との対話を重ねていくことが、状況を変える力になることを改めて実感することができました。

諦めずに話すこと、自分の当たり前を押し付けずに、互いに伝え合い、わかり合おうとする環境を、職場、地域、家庭の中で、真摯に取り組んで下さった3人の発表に、参加された皆さんも、次は、わたしたちから始めよう!という熱気が感じられて、素敵な会だったなあ〜と、今も振り返りながら温かい気持ちになります。これからも、こういう場所をいろんな所でひらいていきましょうね!

アンケートより

ジェンダーギャップ解消のための新たな行動を行うヒントを得ることができました。

「思っているだけでは何も変わらない」という言葉がとても響きました。理解してもらうこと、相手を理解することを諦めず、伝える努力をしていこうと思います。

「子育ての機会を奪っていたのかもしれない」とお話し下さった60代の参加者の方がいらっちゃって、父親の育児参加が改めて大切なのだと気づきがありました。

ジェンダーの問題も地域により様々なものがあると感じた。「ねばならない」「こうあるべき」からの解放についてのお話は特に印象に残った。

